

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公開番号】特開2019-78282(P2019-78282A)

【公開日】令和1年5月23日(2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2019-019

【出願番号】特願2017-203409(P2017-203409)

【国際特許分類】

F 16 H 57/029 (2012.01)

F 16 H 1/06 (2006.01)

【F I】

F 16 H 57/029

F 16 H 1/06

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月18日(2019.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

第1ハウジング部(41、81、91)と、

前記第1ハウジング部と共に収容空間(44)を形成している第2ハウジング部(42)と、

前記第1ハウジング部と前記第2ハウジング部とを締結している締結部材(43)と、
を備え、

前記第1ハウジング部は、

前記第2ハウジング部に当接しているシール面(62)と、

前記シール面に垂直な方向視において外側に突き出すように形成され、前記締結部材
が螺合している締結部(63)と、

前記シール面に垂直な方向視において前記第1ハウジング部を包絡する範囲内であり
且つ前記締結部に隣接する箇所に位置し、前記締結部に接続され、前記シール面に対しても
前記第2ハウジング部とは反対側に形成され、前記シール面側に当該シール面に対する平行
面(75)を有しているリブ(74、82、92)と、

を有しているアクチュエータ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明のアクチュエータは、第1ハウジング部(41、81、91)と、第1ハウジング部
と共に収容空間(44)を形成している第2ハウジング部(42)と、第1ハウジング部
と第2ハウジング部とを締結している締結部材(43)とを備えている。第1ハウジ
ング部は、第2ハウジング部に当接しているシール面(62)と、締結部材が螺合して
いる締結部(63)と、リブ(74、82、92)とを有している。締結部は、シール面に
垂直な方向視において外側に突き出すように形成されている。リブは、シール面に垂直な
方向視において第1ハウジング部を包絡する範囲内であり且つ締結部に隣接する箇所に位

置し、締結部に接続されている。また、リブは、シール面に対して第2ハウジング部とは反対側に形成され、シール面側に当該シール面に対する平行面（75）を有している。